



新連携/モノ作りフォーラム会場の様子



# SICS information

サイクスの情報をお知らせします

Vol. 33

産業情報支援センターの運営組織である(株)西条産業情報支援センター(愛称:サイクス)の各種情報をお知らせします。

今月は、市内企業の所有する様々な技術を紹介する「我が社の得意技」やモノ作りフォーラムなどについてお知らせします。

もっと詳しく知りたい方は…

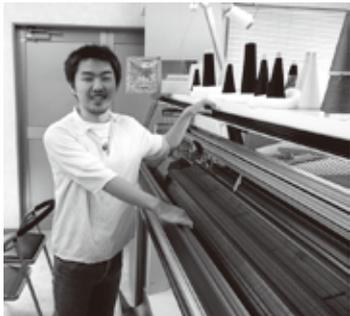
○産業情報支援センター

TEL0897-53-0010 FAX0897-53-0011

Eメール info@saijo-sics.co.jp

サイクスのホームページもご覧ください。

http://www.saijo-sics.co.jp/



▲ニット製品製造機と技術者の金子さん

得意技は継ぎ目のないニット製品づくり  
「お客様にピッタリのニット製品を継ぎ目なく編みあげることができません」と茨木縫製(株)茨木昭二社長は語る。茨木縫製は、昭和48年に創業、主に野球ユニフォームを製造している。茨木社長は、縫製事業を営みながら、「お客様の顔が見える製品を作り、直接お届けしたい」と思っていた。そこで、一着丸ごと継ぎ目なく編みあげるニット製法「ホールガーメント(島精機製作所の登録商標)」を導入した。そこに自社の高い技術力を組み合わせることで全国的にも珍しい「お客様の体型と好み

我が社の得意技 ③  
継ぎ目なく編みあげるニット製法  
茨木縫製株式会社 (氷見丙)



高品質なニット製品とANOEブランドのロゴ(左下)

地域密着型の自社ブランド「ANOE」  
同社は、お客様自身が中心となってオーダーメイド的にニット製品選びを楽しめるよう製造現場と一体化した直販ショップを設けている。このような新しい取り組みを地域の皆様に可愛がってもらえればと、自社ブランド「ANOE」を誕生させた。ANOEとは、西条の方言で「あんの

うえー」が由来。一着ずつの丁寧な作業とお客様密着を基本として地域に根付いていくという思いがこもる。

茨木社長自身、自らイタリアへ二度足を運ぶなど、自社ブランド構築に向けた努力を惜しまない。「服を作ることでも自分も夢を見ることができません」茨木社長の熱い思いを乗せ、ANOEブランドは大きく広がりがつつある。

茨木縫製ホームページ  
http://www.anoe.jp/

(レポーター・技術相談室アドバイザー) 石田茂樹)

うちぬきサロン  
200回記念会 開催

6月25日(月)に200回目を迎えたうちぬきサロンの記念会を開催いたしました。当日は、国や県の関係者、研究機関や先進企業の方々など130人を超える関係者が県内外から集まり、有意義な意見交換が行われ、盛会に終える事ができました。今後も産業人の出会いの場として、毎週月曜日18時から開催していきますので、皆さまお気軽にお立ち寄りください。



発表をする浜辺部長

## 新連携/モノ作りフォーラムへ出展

去る6月19日と20日の2日間、東京国際フォーラムにて「新連携/モノ作り中小企業全国フォーラム」が開催されました。

この展示会は、日本の精鋭中小企業約600社が世界に誇る先端技術や選りすぐりの新製品・新サービスの展示、新連携の成果報告・支援事業の研究内容等を発表するものです。

戦略的基盤技術高度化支援事業の事業管理者であるサイクスは、研究概要のパネル展示と研究内容発表会に参加しました。研究内容発表会では、当市の株谷口金属熱処理工業所の浜辺部長による「マルチ冷却制御によるマルクエンチ技術及び装置の開発」についての発表が多くの特注家の注目を集め、本研究の重要性を改めて感じる事となりました。

サイクスは、世界に通用する技術開発研究の一翼を担っていることを非常に光栄に思い、今後も多様な企業同士が連携を図っていきお手伝いをしていきたいと考えています。